

2007年3月22日

## 「日本の魅力の向上・発信」に関する意見

アジアゲートウェイ戦略会議 委員  
松下電器産業株式会社  
中村 邦夫

### <日本文化の競争力・発信力強化>

日本の強さ・素晴らしさを発信するにあたっては、それに先立ってわが国の伝統文化・工芸の源となった大陸の先進国（中国、韓国）に対し、敬意を表することが重要であり、お互いによる敬意と尊重がアジア域内での相互理解、協調の進展を一層可能にすると思われる。

そして、「敬意」と「強さ」の同時発信が、「アジアにおいては、日本で評価されることが価値である」という好循環をもたらしていくと考える。

日本人が有する卓越した能力 - 外来の「もの」や「アイデア」、文化を柔軟に受容する能力、それらを「形あるもの」へと作りこみ産業化する能力、それに日本人の感性・工夫を加えてより使いやすいものに洗練させていく能力、更に実用性だけでなく日本の感性・美しさを反映した特色ある製品や仕組みを作り上げる能力など - を活かし、「洗練工房・洗練市場」としての日本を発信していくことで日本のブランド価値を輝かせ、国際競争力の強さへと繋げていく事ができると思う。

例えば、「新日本様式」協議会では、各種ワークショップを通じ、伝統とハイテクを融合した新しい様式の商品を作ることで日本の国際競争力を高める取組みを進めている。こういった活動を更に進めることが有効であろうと考える。（資料 ）

また、アジア域内における文化財の輸出動向を比較すると域内での貿易は10年間で3倍になっている。（資料 ）

特に日本からはアニメなど「Japan Cool」と呼称される若者文化は海外の若者に絶大な支持を受けており、例えばマンガを日本語で読みたい為に日本語を学ぶ、それをきっかけに日本に興味を持つといった流れが出来ているようだ。（資料 、 ）  
このように将来の国際関係を担う若者達が自主的に日本に興味を抱くということは大変重要なことと思っている。わが国としてはアニメや映画だけでなく、更に幅広く日本の文化・産業を知ってもらい、日本も他のアジアを理解し、おしつけでない相互理解の上で双方の発展に繋げていくスタンスと援助体制が必要と考える。

例えば、日本を含む国際空港等の公共スペースに於ける展示や、アジアにおける展示会の開催、インターネットでの関連情報WEBの開設、日本における他アジア文化の紹介の支援など、政府としてもメリハリをつけた推進を是非お願いしたい。（資料 ）

## <美しい国日本を世界に発信するために - 国際放送の充実、強化 >

また、国際放送の充実強化を通じて諸外国及び外国人の日本の歴史・文化・社会事情等に対する理解を促進することも、わが国のグローバル化の進展を円滑に進める上においても、重要なテーマの一つと思う。

世界にとって日本を代表するイメージは自動車、精密機器などの高品質な工業製品であり、それらを作る高度なハイテク技術こそが日本が世界に誇る強みであり「日本ブランド」の源泉と捉えられてきた。

しかし「安全」「清潔」「環境配慮」「きめ細やか」「便利」「もてなし」といった日本の美德とされる習慣・特性が、最近有名になった“もったいない運動”以外にも多様にある。これらの日本人の繊細な感性や、自然や社会と調和を重視する貴重な価値観は、世界をより良くするためにも大いに世界に向けて発信すべきではなかろうか。

また、日本の魅力を国際放送を通じて広くアジア諸国にアピールすると同時に、アジアの一員としての多元的なアジアの情勢を世界に発信することも、アジアと他の地域との相互理解を深める為の役割を日本が果たす意味で重要だと考える。

しかし、放送を主体とした情報発信については欧米や中国・韓国等、国の支援の下で情報発信力を強化している国と比較すると、必ずしも十分な状況とはいえない。  
(資料 )

まずは、外国人向けの国際放送を充実していく必要があると考える。例えば従来の衛星放送、ケーブルテレビの他にインターネットも組み合わせ、相手がより情報取得をしやすくし、機会を増やすことも一つの方法ではないか。  
それらのプログラムに関連する地域の観光情報や関連商品紹介等にリンクできるサービスを提供すれば、更に他の産業への波及効果も期待できると思う。(資料 )

美しい国日本を世界に発信するために、国際放送及び情報発信ツールの充実実現に向けて、国の主導の下、コンテンツ制作から配信手段に至るまで、諸外国の事情をよく分析した上できめ細かな対応をすべきではなかろうか。

以 上